

JaNet

April 2016 No. 77

季刊ジャネット

Ja-Net は Japanese Network の略です。「にほんご」を通して編集室と読者の皆様を結ぶ情報誌にしたいと考えています。

Contents 目次

2016 年 4 月 25 日発行

- View from the Other Side 3
仲間宮子さん(ペルー)
- あちこち日本語ご紹介〈国内編〉..... 4
東京都 世田谷区
- あちこち日本語ご紹介〈海外編〉..... 5
ペルー リマ
- 教材紹介 6
『みんなの日本語【初版】』販売期限のお知らせ
『新完全マスター単語 日本語能力試験 N3 重要 1800 語』
の音声聞く
- なんでも情報 BOX..... 8

スリーエーネットワーク

巻 頭
寄 稿

ビジネスを通して社会に貢献できること

—日本に暮らす難民と外国人の自立支援に向けて—



株式会社アルーシャ
代表取締役

岩瀬香奈子

「日本にも難民がいる……」 ～外国人との 出会い～

現在、私は東京都港区でネイルサロン「アルーシャ」を経営しています。アルーシャでは難民、外国人がネイリストとして働いています。

2009 年に「本当に自分のやりたいことをしたい!」「自分らしく生きたい」「誰かの役に立つことをしたい」と考え、約 10 年間のサラリーマン生活に幕を閉じ、株式会社アルーシャを設立しました。起業したときは、企業の事業協力、コンサルティング等を行っていました。学生時代に様々なボランティアを経験したこともあり、その頃から社会的課題に関心を抱き、「ビジネスを通じた貢献」について模索していました。その年の秋に、友人の紹介で NPO 法人難民自立支援ネットワークの理事長 石谷尚子さんにお会いし、それをきっかけに、日本に暮らし苦労している難民や外国人がいることを知りました。難民として異国で生きていかなければならない彼ら、また日本で生活し、ことばや経済的な面で苦労している外国人の現状を知り、私にも何かできないものかと思い、日本に暮らす難民・外国人への自立支援に携わるこ

とになりました。

昨今、シリア難民の問題がニュースで大きく取りあげられていますが、日本にもシリアやアフリカ、ミャンマー等から難民が来日しています。アルーシャに来た難民の中には、難民申請をして数年間、審査結果を待ちながら日本で生活をしているような人もいました。彼らは工場や飲食店、リサイクル会社などで働いていました。

就労支援でみえたカルチャー・ギャップ ～ネイルアートサービス～

海外で何度かネイルサロンに入り、外国人に施術してもらった経験から「手先が器用であればネイルアートもできるのでは?」と思いつき、そこから難民ネイリストによるネイル事業が始まりました。ネイルアートを身に付けることで、日本で生活するための糧を得る手段になるかもしれません。

そこでまず、ネイリストとなる人材を集め、ネイル研修を開講することから始めました。難民支援をしている NPO の方々に、「難民ネイルサロン」構想を伝え、広報していたところ、あっという間に定員を超える 7 カ国、20 名の方々が集まりました。研修は無料にしましたが、交通費は本人の負担

で、ネイル技術を身につけ、ネイリストとして業務ができるようになれば報酬が得られるという条件でした。参加した研修生たちは藁をもつかむ思いだったのだと思います。

難民は身の安全がおびやかされ、母国を離れざるを得ない状況で来日します。中には国を選ぶ余裕などなく、たまたま日本に来たという人もいます。ですから、日本の文化やことばの知識がない人がほとんどです。実際に研修に参加した人々も、ことばに困り、自国との生活や文化のギャップに戸惑っていました。例えばアフリカから来た方は、英語も日本語も話せず、フランス語しか話せないという人が、少なくありませんでした。家族と一緒に来日し、友人もフランス語話者のみで、結局 5 年間日本にいても日本語が話せない人もいました。また家族と離れて 1 人で来日した難民は、引きこもりのようになってしまうこともあるそうです。

私もフランス語は「ボンジュール」くらいしか、わかりませんから、通訳をお願いしたり、日本語→英語→フランス語と皆で通訳し合っていました。しかし、伝言ゲームのように、段々話の内容が変わっていき、「私、そんなこと言ってないけど……、まあ

いいや」とコミュニケーションを諦めてしまうこともありました。

ネイル研修でも、アフリカ人のメンバーは「なぜ、ジェルが爪からはみ出してはダメなのか」等のネイリストとして基本的な感覚が理解できず苦労していました。こちらが注意し続けても「Don't worry!」「大丈夫!」と言った反応で、日本でネイリストとして仕事をするのは相当難しいのではないかと感じました。

当初は先が思いやられた研修でしたが、その後スタッフとなったメンバーは、経験を積み、今では立派に働いています。アレルギーを離れたメンバーも、ミャンマーでネイルの先生をしていたり、日本の美容院でネイリストとして働いている人もいます。彼らがネイリストの経験を活かし、頼もしく活躍している様子は、私にも勇気を与えてくれます。

日本語習得の必要性、日本文化の理解

難民の方々と接し、日本語習得の必要性を痛感したのは言うまでもありません。日本に暮らす外国人と言っても、様々な方がいます。特に難民は母国に帰れず、今は日本で生きていく選択肢しかありません。日本で生活するには、日本語ができないとあらゆることに不自由してしまうので、できるだけ早く日本語を習得してもらいたいと思い、日本語の講習プログラムを作りました。日本語講習では、ことばと共に文化の理解も大切にしています。外国人がそれぞれ持っている自国の文化と日本文化の大きなギャップから、私自身も日本文化を再認識しました。

例えば、「電車でクシャミをするのも、周囲を気遣って、ハンカチで口を塞いで小さく『クシュン』としている人を見て、すごく気を遣う国民だと思った」「本当に日本人って、時間を守るんだと思って、ビックリした」等と聞かされた時に、外国人が日本語を学び、日本文化を理解し、更に日本人を理解するプロセスはとても興味深く、普段、私が当たり前に感じていたことも、外国人から見たら不可解なことが沢山あると気付かされます。

同時に、日本人の私には理解し難い、彼らの感覚が多分にあります。仕事の時間を守れない、突然休む、お客様への気遣いが出来ない、接客中にスタッフ同士が母語でケンカする、都合の悪いときは「あ、その日



ネイルデザインはシンプルなものから、母国の果物をイメージしたものや日本的な模様まで様々



お客様が喜んでくださるのを見ると、嬉しくなって元気が出ます

本語分かりませんでした」と言って誤魔化す、上手い出来ないことがあると、すぐに神様にお祈りして解決しようとする……と、日本人と違った外国人ならではのマネジメントの困難さがありました。

日本語講習は「日本人って、必ず時間を守ったりして、なんだか変だけど、ちょっと真似してみようかな」と感じてもらえるようなプログラムにしたいと考えています。以前行った特別講習では、日本で活躍している外国人を講師にし、日本語で講演をしていただきました。自身がいかに日本で活躍するに至ったか、という話は大きな希望となり、学習意欲の向上に繋がりました。日本人が「がんばって」と声を掛けることの何倍も効果的だったようです。このように日本を知ることが日本で生活する上でプラスになるはずで、仕事は時間を守り、普通は突然休めるものではないことや、お客様の前でケンカしないことなど、日本人であれば普通のことを知る必要はあると思います。

私は彼らに日本語をある程度操れるようになることで、日本でもいきいきと生き抜いて欲しい、夢を叶えて欲しいと思っています。外国人の中には、難民のようにやむを得ず国を離れた方も多いと思います。母国に帰りたくても帰れない方も多いことでしょう。ただ、「日本にきたから夢を諦める」と

というようなことではなく、日本にきたからこそ、更に“夢”を日本版にバージョンアップして輝いた人生を楽しんでもらいたいです。特に難民の方はこれまで自分の意思とは違った人生を歩まざるを得なかった訳ですが、できれば来日したことを好機ととらえ、奮起してもらえるようになったら嬉しいです。私は「私が、あなたのライフを変えるのではない。あなたが、あなたのライフを変えるのよ」とメンバーに言い続けています。

就労研修と日本語講習を通じて、日本に暮らす難民や外国人のことを本人たちから直接聞けることは、貴重な体験です。彼らの抱える困難は想像を超えるものがあります。このような状況で、彼らが前を向き、生きていこうとする姿勢はとても勇気づけられますし、国籍や肌の色が異なっても、心は通い合えるのだと実感しました。

アレルギーのお客様もネイリストとの触れ合いを通し、同じように感じてくださっているのではないかと考えています。こういう機会を提供できることにも意義を感じ、多くの方に難民・外国人のことを知っていただけたらと思っています。

弊社は、日本に暮らす難民の自立支援活動事業から始まり、様々な社会課題と向き合って参りましたが、難民のみならず、「少し力を貸して欲しい」と困っている方々の役に立てる組織でありたいと考えています。児童施設の子供たちが職場体験としてネイル研修に来てくれたり、色々な方が弊社にアクセスしてくださるので、その気持ちに応えられるよう更に邁進していきたいと思えます。

ネイルサロン アルーシャ

東京都港区虎ノ門 5-11-11

虎ノ門 MK ビル 2 階

(日比谷線神谷町駅 1 番出口徒歩 1 分)

☆ネイルご予約専用連絡先☆

080-8867-1405 / arusha.nail@docomo.ne.jp

岩瀬香奈子 いわせ かなこ

1975 年生まれ。新卒で大手人材派遣会社へ入社。外資系金融ソフトウェア企業を経て、ベンチャー企業立ち上げに参画。その後、イギリスのビジネススクールへ留学。帰国後、エグゼクティブ・サーチ・ファームに勤務した後、2009 年株式会社アルーシャを設立し、翌年難民ネイリストによるネイルサロンをオープン。他に語学スクール事業、通販事業、人材紹介業等幅広く事業を展開。2014 年より文化庁助成事業を受託し、日本語講習事業に本格参入。

「やり出したことは、最後まで」

日本語教師として働く日系3世の仲間宮子さん

ペルーから日本へ

1980年代後半、ペルーのリマはテロやインフレで大変な時期でした。そのような中、父と兄が日本へ出稼ぎとして旅立ったことは、私の人生の中で忘れられない出来事です。そこから私たちの人生が大きく変わりました。父と兄が日本へ渡った1年後、母と私も日本へ向かいました。15歳の時でした。私は強くて前向きな母をいつも頼っていました。日本に来て、久しぶりに父と会えた時はとても嬉しかったです。しかし、日本での生活にはやっぱり不安もありました。

ペルーでは5年間日本語を勉強しましたが、あいさつや、ひらがな、カタカナ、小学校1年生レベルの漢字の知識しかありませんでした。ほとんど日本語が出来ず、ゼロからの再スタートでした。日本の学校に行こうと思っていましたが、まだその時代の学校は、外国人を受け入れる体制が整っていないところが多かったため、1年近く日本語の勉強をしながら、いくつかの学校から返事を待っていました。「このまま、学校に入学出来ないのだろうか」と心配していました。その年の暮れに「2月までに日本の学校に入らなかったら、ペルーへ帰るよ」と母の決断を知らされ、複雑な気持ちでした。

その頃は外国人を受け入れる学校が少なく、たとえ学校に入学できても、日本語が分からないために馴染めなかったり、いじめられたりして、ペルーへ帰らなければならない子どももたくさんいました。でも、負けず嫌いな私は「絶対日本で勉強してみせる」と決意しました。

友人との出会い

そんな中、やっと、その当時住んでいた町の一つの学校から返事が来て、私は中学校3年生から勉強を始めることになりました。その学校で、私は本当の友達と出会いました。片言の日本語しかできない私にゆっ



仲間 宮子 なかま みやこ

ペルー・リマ生まれ。1989年15歳で来日。埼玉県の上里町立上里中学校を卒業後、明和高等学校、明和女子短期大学（現 明和学園短期大学）に進学。卒業後は神奈川県幼稚園や保育園などで働く。2008年にペルーに帰国し、現在は日系人学校のラ・ウニオン学校や様々な機関で日本語を教えている。5人家族。趣味はバレーボール。寿司ととんかつが好き。

くり話してくれたり、日本語とスペイン語の辞書を開いてお互い理解しようとしたりと力になってくれた友達でした。そして、受験のために一緒に猛勉強しました。その友達や学校の先生方のお陰で大変な時期もうまく乗り越えられ、今の私がいます。

高校の頃には母とともに、市役所や病院に行き、日本語の通訳をしたりと、日本語のことでは、家族の中で一番頼られるようになっていました。毎日の勉強も日本語ではなく、教科科目の勉強が優先でした。それから群馬の明和女子短期大学に進学し、幼稚園教諭の免許を取りました。

その頃はアルバイトもしていました。アルバイト先の店長と店長の家族と初めてス

キーに行ったのをよく覚えています。リフトからなかなか降りられなくて、しばらくぐるぐると回っていました。高校や大学でも、いつも周りの親切な方々に支えていただいていた。

幼稚園教諭から、日本語教師の道へ

大学卒業後は、保育園で働き始めました。大学で学んだことと現場は違うので、最初の1年目は大変でした。10年ほど幼稚園や保育園などに勤め、日本の生活にも慣れ、家族もでき、これからも日本で暮らそうと決意していました。しかし、ペルーに戻っていた母が急に亡くなり、父の面倒を見るためペルーへ帰りました。

10代の頃にペルーから離れたので、仕事があるかどうか心配でしたが、身につけた日本語を活かして日本語教師の道を歩んでいます。今はラ・ウニオン学校、日本文化会館、サン・イグナシオ・デ・ロヨラ大学で日本語を教えています。周りの人は、私が日本語教師だと知ると驚きます。「難しい言語をよく覚えたね」と褒められます。

まだまだ、先輩の先生方からたくさん学んでいかなければならないのですが、日本でお世話になった方への恩返しという気持ちで日本語を教えています。そして、自分の経験や日本での生活を子ども達によく話しています。それは彼らに日本へ行きたい、日本語を勉強したいといった興味を持ってもらいたいと思うからです。

日本で中学校に行った最初の日、大学を卒業して幼稚園教諭の資格をとった日、そんな時の母の言葉が今も頭に浮かびます。

「やり出した事は、最後までしっかりとやりなさい」

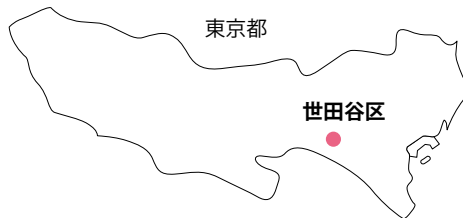
思い出すと、涙がポロリ、ポロリ。これからもずっと、この言葉を守っていきたいです。きっと、天国から母も言っています。



日本語ご紹介

国内編

東京都 世田谷区



留学生に対する就職支援の取り組みと今後の課題

ヨークグローバルビジネスアカデミー専門学校

教務課主任 岸 啓太

留学生の受け入れ

ヨークグローバルビジネスアカデミー専門学校は、語学とビジネスを学べる学校として2012年に設立されました。当校は、開校当初より外国人留学生の受け入れを行っており、これまでにアジアや欧米から10ヶ国の学生が入学し、日本人とともに学んでいます。留学生たちは、入学後1年のうちに、日本語能力試験やBJTビジネス日本語能力テスト（以下、BJT）の受験に向け、日本語学習を進めていきます。また、TOEICやMOS、秘書検定、簿記などの資格試験にも挑戦し、後の就職活動に備えます。この他には、「企業実習」と「キャリア形成」科目が特徴的です。特に「企業実習」は、当校と連携を深める株式会社ニチイ学館において行われ、学びの実践の場となっています。

2015年3月には、中国人留学生3名、ネパール人留学生1名、フィンランド人留学生1名の計5名が卒業し、専門士の称号が授与されました。このうち、日本での就職を希望する留学生4名は、株式会社ニチイ学館が展開する英会話スクール「COCO塾」や大手百貨店、商社、アジアへの展開を図る外食企業に就職が決まり、各分野において活躍しています。

留学生が参加する「企業実習」

私たちは、日本での就職を希望する留学生4名に対して、さまざまな支援を行ってきました。ここでは「企業実習」と「キャリア形成」科目についてご紹介します。

「企業実習」は、留学生の場合、日本語能力試験N1またはBJTJ2相当の日本語レベルを参加の条件としています。実習の目的は授業や学校生活を通して学んだ社会人とし

ての基本的なマナーやルール、言葉遣いを会社の中で実践すること、また、ビジネスの仕組みやさまざまな職種について理解しながら、自身の適性や将来の進路について考えるきっかけを得ることです。実習中、留学生たちは、ビジネスマナー研修の他、介護や経営企画、広報、教育、国際事業を統括する部署にて、組織構成や業務内容についての研修を受けます。その後、各部署において、翻訳や市場調査、イベントの企画・立案、資料作成などの業務に携わります。

実習後、留学生たちからは、「チャイムや朝礼などの慣習に驚いたが、マナーやルールを守ることが大切だと実感した」ことや、「社員同士が助け合ったり、議論したりしている姿が印象的で、日本の企業がチームワークを重んじていることが実感できた」などの感想が挙げられました。また、実習先の社員との交流を通じ、働くことの意味について考える機会を得たことは、何よりの収穫となりました。なぜなら、留学生たちは、自分が今後どのような業界、職種で、どのように成長していきたいか、企業や社会に対してどのように貢献していきたいかという視点を持つことができたからです。

留学生と語る「キャリア形成」

実習後、留学生たちの就職活動が本格化する中で、大きな課題が見えてきました。それは、留学生たちが就職活動で企業を選ぶ際に、その企業の知名度や待遇ばかりを見てしまっていることでした。働くことに対して、自己の成長や企業への貢献、社会への貢献という視点が持てても、具体的な考えやイメージがなかなか持てないようでした。

そこで、私たちは、教務課だけでなく、部門を超えて、「キャリア形成」科目に取り組みました。目的は、留学生たちに自身のキャリアについて再考してもらうことです。この



様々なキャリアを持つ職員の経験を聞く

取り組みでは、企業の役職経験者（50代）や企業出身で10年のキャリアを持つ職員（30代）、子育てをしながら働く職員、外国人職員らがゲストスピーカーとなり、自身の学生時代から現在までの経験や自己の成長、仕事を通じた社会貢献について語り、話し合うものでした。留学生たちにとって身近な存在であり、さまざまな背景を持つ職員たちの経験や仕事への思い、あるいは悩みや葛藤の話は、結果的に彼らの働くことへの思いに多少のヒントを与えたようでした。その後、留学生たちは、自分の特技や適性を考慮し、意思やストーリーを持った企業、職種選びができるようになっていきました。

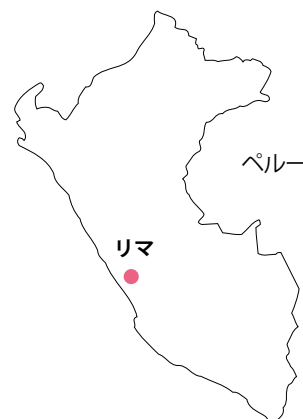
今後の課題

当校では今後、留学生の受け入れが増えていく見込みです。それは、校名のとおり、グローバルな環境を整え、提供していくことが当校の魅力の一つであるからです。留学生への就職支援、特に近年増えつつある非漢字圏の学生への支援は、これまで以上にきめ細やかな対応が求められます。また同時に、日本語を使って仕事をするためには、日本語能力試験合格やBJTでの高スコア獲得はもちろん、日本語運用力のより一層の向上が必要です。このような状況の中で、今後どのようなかたちで「企業実習」を行うか、また、どのような「キャリア形成」科目が有効か、絶えず考え、実行していかなければなりません。



海外編

ペルー リマ



南米ペルーの初中等教育における日本語教育

ラ・ウニオン学校

日本語教師 淀 暢好

日系人学校のはじまり

1899年4月3日、南米に最初の日本人契約移民団790人がペルーに到着しました。今から117年前のことです。ペルーに移住した日本人は子供達の教育を最重要課題の一つとしました。移住後初めての学校が1908年に創立され、その後もペルー各地に日本人学校が建設されました。しかし、1941年第二次世界大戦に突入とともに日本語教育は全て禁止されていきましたが、終戦後1964年ペルー日系人協会のもと再び日本語教育が始まりました。

ラ・ウニオン学校は1971年に日系人の学校として設立されました。現在、小学部と中学部併せて1,200名の生徒達が学んでいます。学校はスポーツセンター「Asociación Estadio La Unión」の敷地の中にあります。ここは日系人の憩いの場となるようにと1953年につくられたスポーツ施設で、陸上競技場をはじめ、野球場、サッカーグラウンド、プール、ゲートボール場などがあり、日系社会の中心的な場所の一つとなっています。毎年、運動会やお祭りが行われ、多くの参加者で賑わっています。

ラ・ウニオン学校の特徴

当校の校訓は「尊敬」「誠実」「責任」「連帯」「根気」「調和」「信頼」「感謝」「忠実」「質素」です。子供達が最良の環境で学べるように設備を整え、安全な施設で、授業を受けることが出来るようにISO9001、ISO14001、OHSAS18001を取得し、さらに国際バカロレア機構の認定校になっています。生徒は、小学生約35%、中学生約50%が日系人です。当校に入学する子供達は、保護者が日本的な教育理念に関心を持ち、



元気いっぱいの生徒達

国際的な視点で教育を受けさせたいと考える人が多いようです。学校では教師、事務員、すべての職員が日本語で挨拶ができるようにし、挨拶をするときはお辞儀もするようにしています。校訓に掲げた理念を大切に、様々な異文化を体験しながら、学校生活を送ることがラ・ウニオン学校の魅力となっています。

ペルーの日本語学習者

2014年におけるペルーの日本語教育機関での日本語学習者は4,705人です。特徴的なのは約7割が初中等教育機関で学んでおり、そのほとんどが日系人学校の生徒であることです。生徒達は、小学校に入学して初めて日本語を学ぶ子供や、日系人の家庭でおじいさんやおばさんに日本のことや日本語を入学前から聞いている子供達もいます。継承語としての日本語は世代が変わるにつれ減少し、現在は第二言語、外国語としての日本語教育になっています。また生徒の中には日本からの帰国子女もいて、スペイン語より日本語のほうが得意な子供達もいます。

ラ・ウニオンの日本語教育

日本語は当校の必修科目です。授業数は学年によって異なり、週3コマから5コマです。小学1年生から現地語のスペイン語、



ペルー初の児童向け日本語教科書

日本語、英語を勉強しています。生徒達は日本や日本語に興味があります。しかし、読み書きとなると、日本の文字を習得するのは簡単ではありません。日本語教師は動機づけをしながら、常に何かができるようになったという達成感を持たせられるよう、授業に創意工夫をしています。

日本語の到達目標は初中級程度のコミュニケーションが取れることです。2012年度よりCEFRの教育理念を取り入れ、第二言語教育としてのコースデザインとカリキュラムを新たに作成し、日本の文化、移住117年の歴史も伝えながら、日本語を指導しています。

また、全ての教室にスマートボードとPCを設置し、大画面で日本の映像を見たり、様々なプログラムを使いながら、日本語を指導しています。教材開発にも力を入れており、小学部は全て自作の教科書を使って指導をしています。

今後も様々な日本語教育機関と連携をとりながら、ペルーの日本語教育を発展させて行きたいと考えています。

教材紹介

「みんなの日本語 初級【初版】」販売期限のお知らせ

「みんなの日本語 初級【初版】」シリーズは、第2版未刊のものを除き、2016年12月で販売を終了いたします。また、2016年12月以前でも、品切れになり次第、絶版になるものがあります。書籍の販売状況につきましては、随時ウェブサイト等でお知らせいたします。

初版販売終了にあたり、以下ご留意ください。

- 『本冊(漢字かなまじり版)』、『教え方の手引き』、『標準問題集』、『書いて覚える文型練習帳』は2016年12月まで在庫を維持し、販売いたします。
- 『初級Ⅰ 漢字 韓国語版』、『初級Ⅱ 漢字 韓国語版』、『初級Ⅰ 漢字カードブック』、『初級Ⅰ 練習C・会話イラストシート』、『初級Ⅱ 導入・練習イラスト集』、『初級Ⅰ B4 サイズ絵教材』はすでに絶版となっています。
- 2016年12月時点で第2版が未刊のものは、第2版発行次第、販売を終了します。

「みんなの日本語 初級 第2版」シリーズラインナップ

『みんなの日本語 初級Ⅰ 第2版』

★本冊	2,500 円
★本冊 ローマ字版	2,500 円
★翻訳・文法解説 英語版	2,000 円
★翻訳・文法解説 中国語版	2,000 円
★翻訳・文法解説 韓国語版	2,000 円
★翻訳・文法解説 スペイン語版	2,000 円
★翻訳・文法解説 ポルトガル語版	2,000 円
★翻訳・文法解説 ドイツ語版	2,000 円
★翻訳・文法解説 フランス語版	2,000 円
★翻訳・文法解説 イタリア語版	2,000 円
★翻訳・文法解説 ベトナム語版	2,000 円
★翻訳・文法解説 タイ語版	2,000 円
★翻訳・文法解説 インドネシア語版	2,000 円
★翻訳・文法解説 ロシア語版(新版)	2,000 円
★翻訳・文法解説 ローマ字版【英語】	2,000 円
★標準問題集	900 円
★書いて覚える文型練習帳	1,300 円
★漢字練習帳	900 円
★漢字 英語版	1,800 円
★漢字 ベトナム語版	1,800 円
★導入・練習イラスト集	2,200 円
★絵教材 CD-ROM ブック	3,000 円
聴解タスク 25	2,000 円
★初級で読めるトピック 25	1,400 円
教え方の手引き 【5月発売予定】	2,800 円
★CD 5 枚セット	8,000 円
★会話 DVD	8,000 円
★会話 DVD PAL 方式	8,000 円

『みんなの日本語 初級Ⅱ 第2版』

★本冊	2,500 円
★翻訳・文法解説 英語版	2,000 円
★翻訳・文法解説 中国語版	2,000 円
★翻訳・文法解説 韓国語版	2,000 円
★翻訳・文法解説 スペイン語版	2,000 円
★翻訳・文法解説 ポルトガル語版	2,000 円
★翻訳・文法解説 ドイツ語版	2,000 円
★翻訳・文法解説 フランス語版	2,000 円
★翻訳・文法解説 イタリア語版	2,000 円
★翻訳・文法解説 ベトナム語版	2,000 円
★翻訳・文法解説 タイ語版	2,000 円
★翻訳・文法解説 インドネシア語版	2,000 円
翻訳・文法解説 ロシア語版(新版)	2,000 円
★標準問題集	900 円
★書いて覚える文型練習帳	1,300 円
★漢字練習帳	1,200 円
漢字 英語版	1,800 円
★導入・練習イラスト集	2,400 円
★絵教材 CD-ROM ブック	3,000 円
聴解タスク 25	2,400 円
★初級で読めるトピック 25	1,400 円
教え方の手引き	2,800 円
★CD 5 枚セット	8,000 円
★会話 DVD	8,000 円
★会話 DVD PAL 方式	8,000 円
★やさしい作文	1,200 円

★は2016年4月25日現在発売中の書籍です。価格はすべて本体価格です。

『語彙訳』ラインナップ [初級Ⅰ]ペルシア語、ネパール語、ビルマ語、アラビア語、アルバニア語[初級Ⅱ]ペルシア語、ネパール語、ビルマ語、アラビア語
 *『語彙訳』は書店での販売はありません。ご希望の方はお名前・ご住所・電話番号を第一営業部(TEL:03-5275-2722、FAX:03-5275-2729、E-mail:sales@3anet.co.jp)までお知らせください。販売価格は800円(税・送料込み)です。

『新完全マスター単語』

日本語能力試験 N3 重要 1800 語』の音声を聞く

※Ja-Net 76 号で紹介された『新完全マスター単語 日本語能力試験 N3 重要 1800 語』の補助教材です。

スマートフォンは持っているがCDプレイヤーやPCは持っていない学習者が増えているという話をよく聞きます。そこで、『新完全マスター単語 日本語能力試験 N3 重要1800語』(以下、本書)を学習するうえで必要な音声は、CDやCD-ROMではなく、当社ウェブサイトからスマートフォンで直接聞ける形態にしました。

移動中やちょっとした空き時間を使って、一つでも多くの単語を覚えたい方のために、単語の発音と意味(訳)を確認しながら自習できるツールを紹介します。



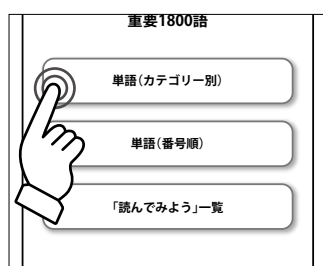
1. サイトにアクセス、言語を選ぶ



本書に記載されているURLを直接入力か、QRコードを読み込んでサイトに移動

TOPページで英語、ベトナム語、日本語を選択

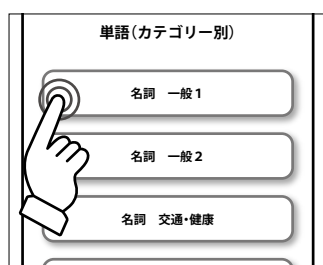
2. 単語の表示方法を選ぶ



「カテゴリ別」、「番号順」のどちらかを選択(いずれも本書に準拠)

※「読んでみよう」一覧には読解文章の音声を収録

3. 単語を選ぶ



「カテゴリ別」一覧から学習したい項目を選択

※「番号順」は一項目に20単語

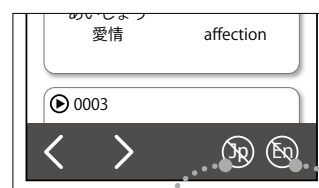
4. 音声を聞く



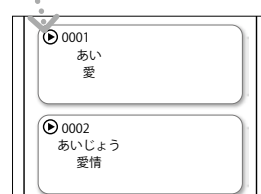
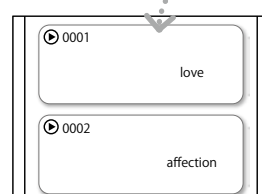
「連続再生」をタップすれば、表示された単語すべてを再生

単語をタップすれば一つずつの再生も可能

5. 日本語 / 訳の表示・非表示を選ぶ



TOPページで英語またはベトナム語を選択した場合、画面下部のボタンで日本語と訳の表示切り替えが可能



すきま時間にこのツールで覚えた単語を、本書の例文で確認すれば、着実に語彙力を伸ばすことができるでしょう。苦手なカテゴリを集中的に学習すれば、短期間での語彙力アップが望めますし、毎日コツコツ順番に覚えて試験当日までに無理なく語彙力を強化することもできます。学習者に合った勉強方法で自由に使っていただけるツールです。是非ご活用ください。

授業でお使いになる方、PCで学習したいという方にはPCのサイトにダウンロード版も用意してあります。

※本ツールはスマートフォン用のアプリではありません。インターネットへの接続が必要です。

※本書の発売と同時に無料公開いたします。現在開発中につき、仕様、デザインなどが変更される場合がございますのでご了承ください。



なんでも情報 BOX

Books ほん

すべて本体価格です

みんなの日本語 初級Ⅰ 第2版 教え方の手引き

5月発行予定 2,800円

みんなの日本語 中級Ⅱ 標準問題集

7月発行予定 900円

新完全マスター単語 日本語能力試験 N3 重要 1800 語

7月発行予定 1,600円

Seminars セミナー

『みんなの日本語 初級Ⅰ 第2版 教え方の手引き』
の効果的な活用方ー『みんなの日本語 初級Ⅰ 第2版』を使った授業
の進め方講師：田中よね（『みんなの日本語』執筆協力者）
東京

日時：第1回 7月23日（土）14:00-16:00

（受付開始 13:30）

第2回 7月24日（日）14:00-16:00

（受付開始 13:30）

＊第1回、第2回の講演内容は同じです。

会場：TKP 麹町駅前会議室ホール 8A

（東京都千代田区麹町 3-2 麹町共同ビル 8
階）定員：80名（先着順。定員になり次第締め切り
します。）

大阪

日時：7月30日（土）10:00-12:00

（受付開始 9:30）

会場：愛日会館

（大阪府大阪市中央区本町 4-7-11）

定員：80名（先着順。定員になり次第締め切り
します。）

2会場共通

参加費：無料

問合せ / 申込み先：

スリーエーネットワーク講座係

102-0083 東京都千代田区麹町 3-4 トラス
ティ麹町ビル 2F

TEL：03-5275-2722 FAX：03-5275-2729

E-mail：kouza@3anet.co.jp

参加を希望される日・お名前・ご所属・ご住所・
お電話番号を明記してください。電話での申込
みはお受けできませんので、FAX、E-mail、はが
きにてお申込みください。

主催：スリーエーネットワーク

楽しく、わかりやすく、役に立つ初級の授業作り
ー『イラスト満載！ 日本語教師のための活動ア
イディアブック』を使ってー in 福山

講師：小山悟（九州大学 留学生センター准教授）

日時：7月23日（土）14:00-16:00

（受付開始 13:30）

会場：福山 YMCA 国際ビジネス専門学校

（広島県福山市西町 2丁目 8-15）

定員：50名（先着順。定員になり次第締め切り
します。）

参加費：無料

問合せ / 申込み先：

スリーエーネットワーク講座係

102-0083 東京都千代田区麹町 3-4 トラス
ティ麹町ビル 2F

TEL：03-5275-2722 FAX：03-5275-2729

E-mail：kouza@3anet.co.jp

お名前・ご所属・ご住所・お電話番号を明記し
てください。電話での申込みはお受けできませ
んの、FAX、E-mail、はがきにてお申込みくだ
さい。

主催：スリーエーネットワーク

協力：福山 YMCA 国際ビジネス専門学校、大谷
書店

Information お知らせ

スリーエーネットワークのウェブサイトでは
教材の活用法を紹介する「特別連載 日本語教
科書活用講座」や教材の語彙訳、プリントなど
の補助教材、教師用ツールをご用意しています。
登録不要でどなたでもご覧いただけますので、
ぜひご活用ください。

特別連載 日本語教科書活用講座

(http://www.3anet.co.jp/nihongo_text_kouza/)

日本語教材を購入したけれども、イマイチ使
い方が分からない。実際にその教科書を使って
どのような授業をしているのか知りたいと思っ
たことはありませんか。先生方のそんなご要望にお応えし、『みんな
の日本語』『日本語初級 大地』『中級へ行こう』
など、当社発行の教科書を使った授業例を、様々
な学校の先生方にご紹介いただいています。

みんなの日本語倶楽部（にほんご・みんな）

『みんなの日本語』のページです。『みんなの
日本語』の概要、シリーズラインナップ、人物
相関図、「みんなちえっかー（仮）」などを紹介しています。「みんなちえっかー（仮）」は文章中の
単語を『みんなの日本語』の何課で扱うかを自
動的に判定するシステムで、授業の準備やテス
ト作成に便利です。

補助教材コンテンツ無料ダウンロード

(http://www.3anet.co.jp/ja-teach-support/)

教材の語彙訳やチェックテスト、指導の手引
きなどのPDFデータ、漢字の書き順の動画、日
本留学試験対策の聴解問題の音声など、様々な
コンテンツがございます。この春、新たに3種
類のデータを公開しました。・『中級へ行こう 日本語の文型と表現 55 第2
版』教師用ガイド・『中級を学ぼう 日本語の文型と表現 82 中
級中期』学習項目（英・中・韓の翻訳が付い
ている箇所）と各課の語彙一覧のベトナム語訳・『日本語初級 2 大地』新出語のビルマ語語彙
訳『日本語初級 大地』の語彙訳はビルマ語の
ほか、インドネシア語、タイ語、ベトナム語、
中国語繁体字、スペイン語、ポルトガル語がご
ざいます。補助教材はウェブサイトのそれぞれの書籍
ページからもご覧いただけます。

Ja-Net No. 77 季刊ジャネット

スリーエーネットワークという社名は、アジア（Asia）、
アフリカ（Africa）、ラテン・アメリカ（Latin America）
の三つの地域をネットワークでつなぎ、相互理解と友
好促進を図ろうという趣旨をシンボライズしています。

2016年4月25日発行

●発行人 藤寄政子

●発行所 （株）スリーエーネットワーク

Ja-Net 編集室

〒102-0083 東京都千代田区麹町 3-4

トラスティ麹町ビル 2F

TEL: 03-5275-2722 FAX: 03-5275-2729

E-mail: sales@3anet.co.jp

http://www.3anet.co.jp/

●印刷 日本印刷（株）

© 2016 by 3A Corporation Printed in Japan

（禁無断転載）

●『Ja-Net』をご希望の方はお名前・ご住所・ご所属を編
集室までお知らせください。無料でお送りいたします。
『Ja-Net』第78号は2016年7月25日発行です。